【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2002-291702(P2002-291702A)
【公開日】平成14年10月8日(2002.10.8)
【出願番号】特願2001-100313(P2001-100313)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　 3/12
　Ｇ０２Ｂ　21/00
　Ｇ０２Ｂ　21/06
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　 3/12　　Ｄ
　Ｇ０２Ｂ　21/00
　Ｇ０２Ｂ　21/06

【手続補正書】
【提出日】平成17年8月2日(2005.8.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　被検眼の角膜の一部を拡大して撮影する角膜顕微鏡装置において、被検眼の前眼部を正面から観察する前眼部観察光学系と、被検眼角膜に向けて斜め方向より照明光束を投光する照明光軸を持つとともに，該照明光軸上に置かれた第１スリットを所定の光学部材を介して前記被検眼角膜に前記第１スリット像として結像させる照明光学系と、前記前眼部観察光学系の観察光軸を挟んで角膜からの反射光を斜め方向から受光して撮像素子に導く撮像光軸を持つとともに，所定の光学部材を介して前記撮像光軸上であり前記第１スリット像と共役な位置に置かれる第２スリットを持つ撮像光学系と、前記照明光学系のスリット照明光を所期する撮像範囲に渡って走査すると共に角膜反射光が前記第２スリットを通過するように走査する走査手段と、を備えることを特徴とする角膜顕微鏡装置。
【請求項２】
　請求項１の角膜顕微鏡装置において、前記走査手段は前記第２スリットと共用する第１スリットが円周上に所定間隔で設けられた回転部材を備え、該回転部材を回転することによりスリット照明光及び前記撮像素子に導く角膜反射光を走査することを特徴とする角膜顕微鏡装置。
【請求項３】
　請求項１の角膜顕微鏡装置において、前記走査手段は正多角形の反射面を有して回転する反射部材を備え、前記第１スリットからのスリット照明光と前記第２スリットに至る前の角膜反射光とを前記光学部材の異なる反射面にて各々反射させつつ回転させることにより各光束の走査を行うことを特徴とする角膜顕微鏡装置。
【請求項４】
　請求項１の角膜顕微鏡装置は、前記第１スリットが円周上に所定間隔で設けられた第１回転部材と、該第１回転部材と同じスリット形成間隔にて前記第２スリットが設けられた第２回転部材と、前記第１回転部材と第２回転部材との同期をとりながら前記第１回転部材と第２回転部材の回転制御を行う回転制御手段と、を備えることを特徴とする角膜顕微鏡装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
（１）　被検眼の角膜の一部を拡大して撮影する角膜顕微鏡装置において、被検眼の前眼部を正面から観察する前眼部観察光学系と、被検眼角膜に向けて斜め方向より照明光束を投光する照明光軸を持つとともに，該照明光軸上に置かれた第１スリットを所定の光学部材を介して前記被検眼角膜に前記第１スリット像として結像させる照明光学系と、前記前眼部観察光学系の観察光軸を挟んで角膜からの反射光を斜め方向から受光して撮像素子に導く撮像光軸を持つとともに，所定の光学部材を介して前記撮像光軸上であり前記第１スリット像と共役な位置に置かれる第２スリットを持つ撮像光学系と、前記照明光学系のスリット照明光を所期する撮像範囲に渡って走査すると共に角膜反射光が前記第２スリットを通過するように走査する走査手段と、を備えることを特徴とする。
（２）　（１）の角膜顕微鏡装置において、前記走査手段は前記第２スリットと共用する第１スリットが円周上に所定間隔で設けられた回転部材を備え、該回転部材を回転することによりスリット照明光及び前記撮像素子に導く角膜反射光を走査することを特徴とする。
（３）　（１）の角膜顕微鏡装置において、前記走査手段は正多角形の反射面を有して回転する反射部材を備え、前記第１スリットからのスリット照明光と前記第２スリットに至る前の角膜反射光とを前記光学部材の異なる反射面にて各々反射させつつ回転させることにより各光束の走査を行うことを特徴とする。
（４）　（１）の角膜顕微鏡装置は、前記第１スリットが円周上に所定間隔で設けられた第１回転部材と、該第１回転部材と同じスリット形成間隔にて前記第２スリットが設けられた第２回転部材と、前記第１回転部材と第２回転部材との同期をとりながら前記第１回転部材と第２回転部材の回転制御を行う回転制御手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】